

施設名	静岡市大里生涯学習センター		所在地	静岡市駿河区中野新田57番地の5
			電話番号	054-283-1698
所管部署	静岡市生涯学習推進課	HP	https://sgc.shizuokacity.jp/lc/detail.asp?lclid=9	
		SNS	twitter	@shizuoka_sgc

○施設外観・事業風景



○施設概要

施設の沿革・年表		施設の運営で大切にしている考えなど（PRポイント等を含む）	
平成7年2月15日 静岡市大里公民館設置 平成20年4月1日 静岡市大里生涯学習センター移行 平成21年4月1日 指定管理者制度導入		中学校との複合施設という特徴を生かすため、中学生が参加したり、地域住民と交流する事業を推進している。 また、高速道路のインターチェンジや主要国道に近接する等交通至便な立地のため、市外からの来館者も意識した施設運営を行っている。	
市町人口	692,374人	施設対象人口	33,537人
建物設置年月日	平成7年2月15日	開館日数 (前年度実績)	296日
運営主体	<input type="checkbox"/> 市町教育委員会 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理者 ((公財) 静岡市文化振興財団) <input type="checkbox"/> 市町首長部局 <input type="checkbox"/> その他 ()		
職員数	<input checked="" type="checkbox"/> 専任 4人 <input checked="" type="checkbox"/> 非常勤 1人 <input type="checkbox"/> 兼任 0人 <input type="checkbox"/> ボランティア協力者 0人	合計	5人
講座等開催数 (前年度実績)	<input checked="" type="checkbox"/> 学級・講座 119回 <input type="checkbox"/> その他 0回 <input type="checkbox"/> 講演会・展示会等 0回	合計	119回
来館者数 (前年度実績)	<input checked="" type="checkbox"/> 学級・講座 1,589人 <input checked="" type="checkbox"/> 貸館・サークル活動 22,294人 <input type="checkbox"/> 講演会・展示会等 0回 <input type="checkbox"/> その他 0回	合計	23,883人

○事業等の実施状況（『特色ある活動』であげた事業以外で2つ）

※令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響あり

区分	事業名	開催回数	延参加者数	区分	事業名	開催回数	延参加者数
<input checked="" type="checkbox"/> 主催 <input type="checkbox"/> 共催	大里まちづくりガーデニング講座	9回	80人	<input type="checkbox"/> 主催 <input checked="" type="checkbox"/> 共催	大里中学校放課後サークル活動	26回	371人
事業概要(共催先も記載)				事業概要(共催先も記載)			
ガーデニングの技法を学び、生涯学習センターの花壇を実践の場として整備することで、緑化ボランティアの養成と交流を図り、花と緑のまちづくり推進を図る。				中学校との複合施設という特徴を生かし、中学生と地域住民が共に学ぶ機会を設け、世代間交流を促進する機会とする。			



施設名 静岡市大里生涯学習センター

○特色ある事業

1. 事業名

大里地域探訪プロジェクト

2. 取組を進めた要因・背景、地域課題、住民ニーズなど

大里生涯学習センターでは、地域の特徴である「川と水」をキーワードとして地域の歴史・文化等を再発見する各種事業に取り組み、その研究成果のまとめとして平成29年度に周辺地域在住の受講者と共に「大里かるた」を制作した。「大里かるた」で取り上げた文化財等への理解を深め地域への愛着を涵養するために「ウォーキングコースの設定」や「ウォーキングガイドの養成」を行っており、副読本の制作にも取り組んでいる。また、「大里かるた」大会を開催し、「大里かるた」の普及啓発にも努めている。

3. 取組内容（力を入れている活動、特徴的な活動、地域課題解決の活動、運営の工夫など）

地域の歴史・文化等を再発見する各種事業の実施と、そのまとめである「大里かるた」の制作。「大里かるた」は各種事業を通じて地域情報の発信手段として活用。「大里かるた」普及のために、カルタ札に取り上げた文化財等を巡るウォーキングコースを市民の手により作成。また、紹介役を担うウォーキングガイドの養成。市民が地域への理解を深めるとともに、ガイドの実践の場となるウォーキング講座の開催。「大里かるた」普及のためのかるた大会の開催。

4. 参加対象、参加者数（前年度実績）

参加対象	地域住民	参加者数	51人
------	------	------	-----

5. 取組による成果や効果

地域への理解・関心を継続的に高める。地域の歴史・文化情報の調査・研究と、成果の発表。地域への愛着を育み、地域づくりに貢献する人材の育成。

6. 取組の検証・改善を行う仕組み・方法

一般市民対象とした地域探訪講座の際に、ウォーキングガイド養成講座修了者が実際にガイドを務めることで、実践の場を提供する。



7. 今後の目標・展開、次の仕掛け・ビジョン

地域の小学校へ出前講座を実施し、「大里かるた」の普及を推進する。2年後を目途に副読本を制作し、かるたで取り上げた文化財への理解促進を図る。ウォーキングガイドを組織化し、小学校の地域探訪活動等へ派遣し、地域への誇りと愛着を育む活動を支援する。